



みんなで100年をかけて森づくりを行う尼崎の森中央緑地。尼崎の森中央緑地の環境体験学習では、森づくりの一員となって、タネから森を育てる過程を体験してもらうことで、様々な気づきをもたらします。生き物や人とのふれあいを通じて、自然界の仕組みへの関心、生き物を大切に作る心、地域への誇りなどを育みます。

森づくりの3つの約束

自然の森をお手本にします

あまがさきのまわりに昔からある、自然の森をお手本にします。



森はタネから作ります

森はまわりの自然からとったタネから育てます。タネには大切な情報がつまっています。この地域に伝わるタネから育てると、とても丈夫な森に育ちます。



森はみんなで作ります

あまがさきの森では何年もかけてたくさんの苗木を植えています。植えたあとも、森づくりに、とても長い時間がかかります。だからみんなで協力して、手入れをしていくことが大切です。



尼崎の森中央緑地で学べること

尼崎の森中央緑地では、森づくりの段階や環境の違いによって、多様な自然にふれることができます。

森の育て方を学ぶ



ドングリってタネやったんや!

木って最初はこんなに小さいんや!

木を切ることも大切なんや!

成長する森の自然を学ぶ



若い森で!

大きく育った森で!

バッタ発見!

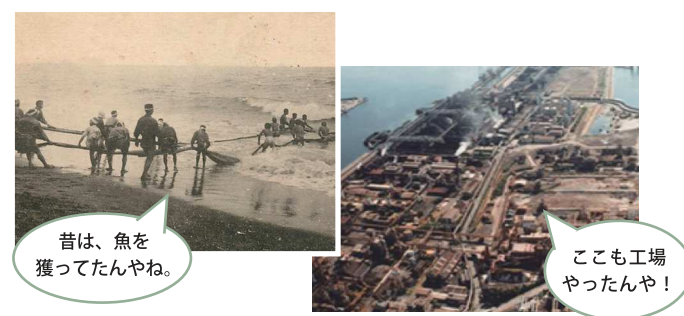
チョウも飛んでる!

キジバトが巣を作ってる!

セミが卵を産んだ跡があるよ!

色んな生き物がつながってるんや!

尼崎臨海部の歴史を学ぶ



昔は、魚を獲ってたんやね。

ここも工場やったんや!

雨の日も…

パークセンターなどの室内で対応できるプログラムもご用意しています。



年齢や習熟度に応じて、生物多様性への理解を深める段階的なプログラム /

環境体験学習プログラムのねらい 3つのステップ

1. 生き物とふれあおう

まずは自分のまわりのさまざまな自然や生き物に気づき、それらとふれあうことが大切です。生き物とのふれあいは、人工物には無いたくさんの刺激を与えてくれます。子どもたちの五感を刺激して豊かな感性を育て、生命や自然の営みへの驚きや大切に思う心を育みます。

2. つながりを知ろう

生物多様性とは、いろいろな生物が存在するだけでなく、それらが互いに複雑に、つながりあっていることを言います。餌になる生き物、またその餌になる生き物など、多くのつながりの中で、生物が生きていられることを知ります。

3. 生物多様性保全と自分の生活とのつながりを知り、行動へつなげよう

私たちの生活は、生物多様性が与えてくれる恩恵（これを生態系サービスと呼びます）の上に成り立っています。私たちは、この恩恵を次の世代へと引き継ぐ責任があります。自分の生活も生物多様性の一部であることを知り、具体的な保全行動へとつなげます。



生物多様性の正しい知識と理解を普及させ、生物多様性への関心と愛着を育てることを大きな目標とします。地域性に配慮した生き物とのふれあいや、生物多様性を実際に作り出す森づくりの作業を通じて、より具体性のある体験学習として提供します。